

平成27年度決算に係る
定期監査調書

平成28年4月

中小家畜試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	収入証紙取扱額調べ	6頁
8	収入事務処理状況調べ	6頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	7頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7頁
11	不納欠損額調べ	7頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	9頁
14	財産に関する調べ	9頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	16頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	16頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	17頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	18頁
19	寄附物件の受納状況調べ	18頁
20	備品の処分状況調べ	18頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	19頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
22	事業別予算執行状況調べ	20頁
23	農業機械の管理状況	21頁
24	生産物(品)に関する調べ	22頁
25	試験研究調査事業別実施状況調べ	23頁
○	意見・要望等	27頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1)指摘事項 該当なし

(2)監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
中小家畜試験場	総務担当	庶務に関すること。
	養豚研究室	(1)畜産経営技術の改善に関すること。 (2)豚の改良繁殖、管理、飼育方法、育成、肥育及び飼料に関すること。 (3)豚の人工授精及び生物工学に関すること。 (4)家畜の経済能力検定に関すること。 (5)その他畜産振興に関すること。
	環境・養鶏研究室	(1)畜産経営技術の改善に関すること。 (2)鶏の改良繁殖、管理、飼育方法、育成、肥育及び飼料に関すること。 (3)家畜に係る環境の改善に関すること。 (4)種鶏の種卵及び地どりのヒナ配布に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成28年4月1日現在)



種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	当該年度	28.4.1現在	
定員	0	0	10	10	4	4	14	14	
現員	()	()	()	()	()	()	()	()	
	0	0	10	10	4	4	14	14	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	0	0	6	6	7	7	畜産技術員 6・事務 1

5 役付職員の調べ

(平成28年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	津森 宏		0	
養豚研究室長	千代 隆之	5	0	
環境・養鶏研究室長	奥村 敏広	2	0	
課長補佐	宮脇 睦子	1	0	出納員 (本務 農林水産総務課課長補佐)

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要	要
<p>「鳥取地どりピヨ」の改良試験</p> <p>決算（見込）額 9,530千円</p> <p>（財源内訳） 一般財源 8,560千円 財産収入 970千円</p> <p>○将来ビジョン 1 ひらく I 地域で・県外 で・国外で新時代 に向かって開く扉 をひらく</p> <p>○政策項目 市場に売って出る 魅力あるオリジナル 品種、高付加価値 化技術の開発</p>	<div style="text-align: center;"> <p>独立行政法人 家畜改良センター</p> <p>↓</p> <p>H16 導入 鳥取県中小家畜試験場</p> <p>選定した白色ﾌﾟﾘﾏｽﾛｯｸを ヒナ生産に使用</p> <p>↓</p> <p>交雑種鶏♂ 白色ﾌﾟﾘﾏｽﾛｯｸ♀</p> <p>↓</p> <p>(1) 交雑種鶏の血統固定化試験 (H16-23 第Ⅰ期、H24-27 第Ⅱ期)</p> <p>原種鶏の導入 (H16 年度)</p> <p>シャモ♂ ロードアイランドレッド♀</p>  <p>↓</p> <p>交雑種鶏♂</p> <p>鳥取シャモ(仮称)</p> <p>↓</p> <p>H22 年度よりヒナ生産へ利用 H27 年度 完成</p> <p>(2) 旨み向上試験 (H23-28) (3) ヒナ生産試験 (H21~)</p>  <p>ヒナの販売羽数 H27 年 12 月末 6,851 羽</p> </div> <p><試験全体の目的> 「鳥取地どりピヨ」の元となる種鶏は、全て県外導入に依存して、生産性や品質の安定性等に問題が残っていたため、鳥取県独自の地どり種鶏群（雄系）への改良を図る。あわせて、「鳥取地どりピヨ」の差別化を図るため、旨みを開発する旨み（アラキドン酸）向上試験を行う。 また、民間の旧山陰食鶏農協の地どり生産休止に伴い、地どりのヒナ生産、出荷も休止され、当场がヒナ生産を緊急的に開始した。</p>	
<p>I 「鳥取地どりピヨ」の種鶏改良に係る交雑種鶏の血統固定化試験 (H16-27)</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 鳥取県独自の種鶏群を開発するために、平成16年度に基礎鶏4系統（雄：シャモ、雌：ロードアイランドレッド、各2系統）を導入、交配して得られた交雑種鶏を更に累代交配することにより、品質と均一性の高い種鶏群の造成を行い、その子を「鳥取地どりピヨ」のヒナとして県内生産者へ供給する。産卵率、体重、モモ肉重量を主な改良項目として種鶏の育種改良を行い、生産者の経営改善を支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 線形計画法を利用した交配選抜プログラム等により改良を進めている。</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・作成した「交配選抜プログラム」を活用し、第12世代作出に向けて雌雄体重格差改善を考慮した交配を開始した。 ・第11世代エリート（きょうだい）鶏群を作出し制限給餌を実施、ヒナ生産用の雄として供給した。</p> <p>ウ 成果 ・改良に向け交配選抜を行いながら第11世代680羽を作出した。（98日齢体重は雄2,697g、雌2,061g。目標値：雄2,800g、雌2,200g）</p>	

	<p>エ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9世代から第10世代について産卵率の低下が見られたため、第11世代作出時に産卵率に留意して交配を行った。今後の産卵実績等で検証する必要がある。 ・第12世代の98日齢体重については飼育密度等を適切に管理しながら飼育管理を行い、改良状況を検証する必要がある。
<p>Ⅱ「鳥取地どりピヨ」の旨み（アラキドン酸）向上試験（H23-H28）</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 脂肪酸の一種であるアラキドン酸が旨みに関係することが分かってきた。そこで、育種により筋肉中のアラキドン酸を向上させ、地どり肉のさらなる差別化を図るために旨み開発を行う。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第11世代エリート鶏の内、97羽（雄53羽雌44羽）を98日齢時に精肉調査し、脂肪酸組成分析を行い、アラキドン酸を含む脂肪酸組成データを収集し（4世代分）、選抜形質に加え、育種改良を行った。 ・飼料添加によりアラキドン酸含有率を向上させるため、給与飼料に油脂の添加を行い発育調査、肉質分析を行った。 <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油脂添加試験では国内製油関連企業が開発した、アラキドン酸前駆物質（γリノレン酸）の給与を試みた。 <p>ウ 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピヨの父親系種鶏群である交雑種第11世代エリート鶏のアラキドン酸含有率の育種価は分析中。飼料添加試験ではアラキドン酸含有率を上昇させることはできなかったが、その他の知見が得られた。 <p>エ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験に使用した汎用資材ではアラキドン酸を上昇させることができなかった。今後は他の資材や添加濃度等について検討する必要がある。
<p>Ⅲ「鳥取地どりピヨ」のヒナ生産試験（H21-）</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 旧山陰食鶏農協の地どり生産休止により、農家への「鳥取地どりピヨ」のヒナ供給が停止したため、当試験場で「鳥取地どりピヨ」のヒナを生産し、農家へ供給することにより、安定的な農家経営を支援する。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒナ生産のための親鶏を作出、導入し、種鶏として使用するため、制限給餌等をしながら飼育した。 ・ヒナ出荷に向けて計画的に集卵、貯卵を行い、定期的にふ卵、孵化作業を行った。 <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防疫対策をさらに徹底し、家畜伝染病の発生防止に努めた。また場内職員で発生時に備えた防疫演習を行った。 <p>ウ 成 果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防疫対策を徹底したところ、家畜伝染病の発生は見られなかった。また販売実績羽数は昨年度同時期には及ばなかったものの、生産者の要望には100%応えることができた。 (H27年12月末販売羽数：6,851羽 H26年同左：7,094羽) <p>エ 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的には試験場の生産能力を超える供給羽数の増加要望の可能性もあり、労力等の増大で試験研究の実施等にも影響があることから、ヒナ生産の民間への移行を検討する必要がある。

事業名	概	要
<p>低コスト畜舎臭気低減技術の開発</p> <p>決算（見込）額 700千円</p> <p>（財源内訳） 一般財源 700千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>○政策項目 自然環境と調和した自然循環システムの開発</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 畜舎臭気は捕集が困難であり、堆肥化施設等で用いられる吸引用送風機を使用した脱臭装置では、施設費、運転費等が掛かりすぎるため適応が困難である。そこで、畜舎周囲の簡易な施設による臭気低減技術を開発する。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウインドレス鶏舎臭気低減試験 ウインドレス鶏舎から排出される臭気の低減対策として、ウインドレス鶏舎換気扇排気側1m先に除塵ネットを1重に張り、併せて換気扇から出る臭気と悪臭物質が付着した埃を抑えるために、微霧ノズルによる水噴霧を行った。 <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウインドレス鶏舎において農家実証試験を実施した。 ・ウインドレス鶏舎周囲の簡易な施設の管理方法を検討した。 ・気温、湿度、風速が簡易な臭気低減施設の性能に及ぼす影響を検討した。 <p>ウ 成果</p> <p>ウインドレス鶏舎換気扇の排気側1m先に1重にネットを張り、そこに微霧ノズルで一定時間毎に水噴霧することにより、鶏舎臭気の主な悪臭成分であるアンモニアを0.5ppm以下に低減出来た。また、畜舎換気扇排気直後の臭気指数値15以上をネット通過直後11以下にまで低減出来た。換気扇排気側5m先地点（ネット4m先地点）では臭気指数値10未満となり、臭気はほとんど感じられず、臭気指数による市街地悪臭防止法基準値11*以下に出来ると考えられた。</p> <p>施設管理としては、埃の付着対策として週1回のネット洗浄が必要であるが、装置の性能は気温、湿度、風速に影響されなかった。</p> <p>*環境庁「悪臭防止法行政ハンドブック」による指標</p> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度で試験終了となる。新しい技術第53号の「参考となる技術」での技術紹介等、技術の普及を図る必要がある。 	

事業名	概	要
<p>鳥取県産ブランド豚品質向上試験</p> <p>決算（見込）額 11,237 千円</p> <p>（財源内訳） 一般財源 7,616 千円 財産収入 3,620 千円 その他 1 千円</p> <p>○将来ビジョン 1 ひらく I 地域で・県外で・国外で新時代に向かって開く扉をひらく</p> <p>○政策項目 市場に売って出る魅力あるオリジナル品種、高付加価値化技術の開発</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的 平成 25 年度に肉質の優れた鳥取県産パークシャー種（黒豚）の系統が完成し、「大山赤ぶた」（デュロック種）にパークシャー種を交配した高品質でオリジナル性の高い「大山ルビー」の生産体制が整った。 平成 27 年度は「大山ルビー」への鳥取県産高オレイン酸含有ひまわり油粕及びひまわり種子添加試験を行い、ブランド力の向上を目指す。またパークシャー種雄の直接検定試験を実施し、養豚農家で交配に使用する豚の譲渡体制を整える。</p> <p>（イ）事業の実施状況</p> <p>1) 大山ルビーへのひまわり油粕及びひまわり種子添加試験 鳥取県産高オレイン酸含有ひまわり油粕及びひまわり種子をそれぞれ市販飼料に 3%（重量比）添加し、肥育試験を行った。調査項目は発育成績の調査および肉質分析等とした。 また、肉質劣化抑制効果の認められたひまわり種子の添加についてさらに効果的な添加条件を調査するため試験を実施中。</p> <p>2) パークシャー種雄の直接検定試験 養豚農家で交配用に使用するパークシャー種雄の譲渡を行うため、90kg 到達時に体格測定を行い、種畜性の高い雄豚の選抜を実施した。</p> <p>イ 平成 27 年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>1) 大山ルビーへのひまわり油粕及びひまわり種子添加試験 ひまわり油粕およびひまわり種子 3% 給与試験では、肥育成績等への影響が認められなかったため、給与期間の延長および給与量の検討を現在、継続試験によって実施中。</p> <p>2) パークシャー種雄の直接検定試験 養豚農家の希望する成績を示す個体を選抜するよう努めた。</p> <p>ウ 成果</p> <p>1) 大山ルビーへのひまわり油粕及びひまわり種子添加試験 ひまわり油粕添加において、各測定項目に関して対照区と差は認められなかった。ひまわり種子添加において、肥育成績および枝肉成績について影響は認められなかったが、肉質分析については、ひまわり種子添加区は対照区と比較してドリップロスおよび肉色の経時的な変化の抑制が認められた。また、食味官能評価の結果、ひまわり種子の添加により香りが好ましくなることが認められた。 これらのことから、ひまわり種子の添加により肉質の劣化が抑制され、香りが好ましくなるという結果も、ブランド力向上のための消費者へのアピールポイントとして有効であると考えられた。</p> <p>2) パークシャー種雄の直接検定試験 7 頭のパークシャー種雄の体格調査を行い、体格測定等のデータを参考に、養豚農家の希望に沿う譲渡体制を整えた。今年度中に残り 3 頭測定予定としている。</p> <p>エ 課題 農家実証試験において、ひまわり添加の有用性の検討が必要である。 また、今後の普及の為には、鳥取県産高オレイン酸ひまわりの収穫量増大と価格低下が必要である。</p>	

7 収入証紙取扱額調べ

該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成27年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	目							
行政財産 使用料	行政財産使用料	電力	1	1,870	1,870	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		電気通信	2	720	720	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		計(節)	3	2,590	2,590	0	0		
目計			3	2,590	2,590	0	0		
合計			3	2,590	2,590	0	0		

(3) 手数料

該当なし

(4) 財産収入

(平成27年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	目							
生産物売払 収入	生産物売払収入	糟液	83	783,000	703,080	0	79,920	生産品事務取扱要領	納期未到来
		豚売払	130	12,066,659	10,664,103	0	1,402,556	生産品事務取扱要領	納期未到来
		ヒナ	22	810,043	803,263	0	6,780	生産品事務取扱要領	
		計(節)	235	13,659,702	12,170,446	0	1,489,256		
目計			235	13,659,702	12,170,446	0	1,489,256		
家畜類売払 収入	家畜類売払収入	豚売払	12	409,995	409,995	0	0	生産品事務取扱要領	
			12	409,995	409,995	0	0		
		計(節)	12	409,995	409,995	0	0		
目計			12	409,995	409,995	0	0		
合計			247	14,069,697	12,580,441	0	1,489,256		

(5) 諸収入

(平成27年12月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	目							
雑入	雑入	電気代	2	12,884	12,884	0	0	公有財産事務取扱要領	自動販売機等
			2	12,884	12,884	0	0		
		計	2	12,884	12,884	0	0		
合計			2	12,884	12,884	0	0		

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

該当なし

イ つり銭の状況

該当なし

9 収入未済額調べ

(平成27年12月31日現在)
(単位:円)

収入科目 目	区分 節	節	過 年 年 度 分			現 年 度 分			収入未済 額 (A+B)	未収理由		
			前年度 以前からの 繰越額	左のうち 収入済額	不 納 欠損額	差引収入 未済額 (A)	収入未済額の調定年度内訳					
							24年度 以前	25年度			26年度	
生産物売払 収入			0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	収入年月日 平成28年1月4日
			0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	収入年月日 平成28年1月5日
			0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	収入年月日 平成28年1月7日
			0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	収入年月日 平成28年1月8日
			0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	収入年月日 平成28年1月18日
			0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	収入年月日 平成28年1月19日
			0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	収入年月日 平成28年1月21日
			0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	収入年月日 平成28年1月28日
		計(節)	0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	
		目 計	0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	
		合 計	0	0	0	0	0	13,659,702	12,170,446	1,489,256	1,489,256	

10 未収金回収促進のための取組状況調べ

該当なし

11 不納欠損額調べ

該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

- (1) 負担金 該当なし
- (2) 補助金 該当なし
- (3) 交付金 該当なし

(4)委託料

(平成27年12月31日)(単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
中小家畜試験場費	単県	ダイオキシン類濃度 測定分析業務	(社)鳥取県保 健事業団	861,840	(H26.3.14) 861,840	H26.4.1 ~ H29.3.31	H26.2.20 (免除) 指	H27.7.31他 H27.7.31他	精算		ID:14-00175008 H26~H29 債務負担行為 年額 287,280	
中小家畜試験場費	単県	機械警備委託	大同警備保障 (有)	1,030,320	(H26.3.31) 1,030,320	H26.4.1 ~ H29.3.31	H26.2.20 (免除) 指	H27.4.30他 H27.5.7他	精算	228,960	ID:14-00174838 H26~H29 債務負担行為 年額 343,440	
中小家畜試験場費	単県	焼却炉保守点検	インシナー (株)	885,600	(H27.4.1) 885,600	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.10 (免除) 随	H27.6.1 H27.6.1	精算	885,600	ID:14-00176927	
中小家畜試験場費	単県	絹屋分場除草業務 (1回目)	(有)本田工務 店	309,500	(H27.7.31) 226,800	H27.7.31 ~ H27.8.31	H27.7.23 (免除) 随	H27.8.12 H27.8.12	精算	226,800	ID:15-00061263	
中小家畜試験場費	単県	絹屋分場除草業務 (2回目)	(有)本田工務 店	309,500	(H27.10.7) 294,840	H27.10.7 ~ H27.10.31	H27.9.24 (免除) 随	H27.10.20 H27.10.20	精算	294,840	ID:15-00090957	
中小家畜試験場費	単県	樹木選定業務(前庭)	管鳥工業	275,400	(H27.9.10) 216,000	H27.9.10 ~ H27.9.30	H27.8.17 (免除) 随	H27.9.28 H27.9.28	精算	216,000	ID:15-00078710	
中小家畜試験場費	単県	本館北側法面伐採業 務	管鳥工業	486,000	(H27.9.14) 421,200	H27.9.14 ~ H27.11.20	H27.9.10 (免除) 随	H27.10.9 H27.10.9	精算	421,200	ID:15-00082425	
中小家畜試験場費	単県	孵卵器保守点検業務	(株)昭和フラン キ	565,488	(H27.4.1) 565,488	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.12 (免除) 随	H27.10.6 H27.10.6	精算	565,488	ID:14-00177079	
中小家畜試験場費	単県	特別産業廃棄物(有 害燃え殻)処理	(株)カンサイ	222,912	(H27.8.10) 燃え殻100/kg ()	H27.8.10 ~ H28.3.31	H27.7.31 (免除) 随	H27.8.24 H27.8.24	精算	95,040	ID:15-00065144	
中小家畜試験場費	単県	汚水処理設備保守業 務	(株)戸上電機 製作所	276,264	(H27.4.1) 276,264	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.24 (免除) 随	H27.8.7 H27.9.10	精算	276,264	ID:14-00181375 新規	
予定価格が20万円 未満のもの										336,147		
目計										3,546,339		
合計										3,546,339		

該当なし

13 工事請負費調べ

14 財産に関する調べ

(1)公有財産
ア 土地

(平成27年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
行政財産	中小家畜試験場本場敷地	南部町北方山ノ奥 尻1216-4外	126,615.78	不明	増加	H						126,615.78	不明	
計			126,615.78	0			0					126,615.78	0	
普通財産	網屋分場敷地	南部町網屋門ナ シ108外	62,251.82	15,010,286	増加	H						62,251.82	15,010,286	
計			62,251.82	15,010,286	減少	H						62,251.82	15,010,286	
合計			188,867.60	15,010,286			0					188,867.60	15,010,286	

イ 建物

(平成27年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
	本館	南部町北方	772.20	100,523,353	増加	H						772.20	100,523,353	
	ボンプ庫	南部町北方	6.80	448,071	減少	H						6.80	448,071	
	種雄豚舎	南部町北方	104.16	6,936,000	増加	H						104.16	6,936,000	
行政財産	雌豚試験舎	南部町北方	306.85	16,450,000	増加	H						0.00	0	
	分娩豚舎	南部町北方	226.40	13,251,000	減少	H						0.00	0	
	子豚試験舎	南部町北方	207.36	15,504,000	増加	H						0.00	0	
	第一肉豚試験舎	南部町北方	273.06	18,746,000	減少	H						0.00	0	

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況								本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)				
													増加	減少		
行政 財産	第二肉豚試験舎	南部町北方	132.00	10,686,000	増加	H							0.00		0	
					減少	H	132.00	10,686,000	種別変更	H						
	と場	南部町北方	156.90	30,250,000	増加	H								156.90	30,250,000	
					減少	H										
	解剖舎	南部町北方	20.00	1,623,000	増加	H								20.00	1,623,000	
					減少	H										
	現場管理舎	南部町北方	70.00	4,888,000	増加	H								70.00	4,888,000	
					減少	H										
	わら収納舎	南部町北方	50.00	2,142,000	増加	H								50.00	2,142,000	
					減少	H										
	堆肥舎	南部町北方	102.00	3,717,000	増加	H								102.00	3,717,000	
					減少	H										
	飼料庫	南部町北方	126.14	7,628,000	増加	H								126.14	7,628,000	
					減少	H										
	本館草庫	南部町北方	35.75	1,452,000	増加	H								35.75	1,452,000	
					減少	H										
総合実験鶏舎	南部町北方	612.00	139,331,109	増加	H								612.00	139,331,109		
				減少	H											
育成試験舎	南部町北方	396.00	24,925,972	増加	H								396.00	24,925,972		
				減少	H											
衛生舎	南部町北方	24.00	2,988,903	増加	H								24.00	2,988,903		
				減少	H											
種鶏舎	南部町北方	209.00	16,618,573	増加	H								209.00	16,618,573		
				減少	H											
器具庫・草庫	南部町北方	100.00	9,986,732	増加	H								100.00	9,986,732		
				減少	H											
鶏糞乾燥場	南部町北方	107.00	7,027,299	増加	H								107.00	7,027,299		
				減少	H											
鶏糞乾燥場 ボイラー室	南部町北方	10.51	647,177	増加	H								10.51	647,177		
				減少	H											

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考		
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)			
行政財産	給餌場	南部町北方	32.94	2,522,532	増加	H						32.94	2,522,532		
					減少	H									
	自転車置場	南部町北方	5.60	627,014	増加	H						5.60	627,014		
					減少	H									
	第二分娩舎	南部町北方	250.33		増加	H						0.00			
				32,197,800	減少	H		250.33	32,197,800	種別変更			0.00	0	
	同上採糞場	南部町北方	9.00		増加	H						9.00			
					減少	H									
	第2分娩豚舎	南部町北方	0	0	増加	H		250.33	32,197,800	種別変更		250.33	32,197,800		
					減少	H									
	分娩豚舎採糞場	南部町北方	9.00		増加	H						0.00			
					減少	H		9.00	83,366,850	種別変更					
	堆肥化处理施設	南部町北方	414.80	83,366,850	増加	H						414.80		0	
					減少	H									
	種雌種雄舎採糞場	南部町北方	23.75		増加	H						0.00			
					減少	H		23.75	0	種別変更					
	第1分娩豚舎採糞場	南部町北方	0	0	増加	H		9.00	83,366,850	種別変更		9.00			
					減少	H									
	繁殖豚舎採糞場	南部町北方	0	0	増加	H		23.75	0	種別変更		23.75		83,366,850	
					減少	H									
選抜検定豚舎	南部町北方	681.00	20,818,500	増加	H						681.00	20,818,500			
				減少	H										
バイテク棟	南部町北方	150.00	14,790,765	増加	H						150.00	14,790,765			
				減少	H										
離乳豚舎採糞場	南部町北方	9.00	887,446	増加	H						9.00	887,446			
				減少	H										
種豚豚舎採糞場	南部町北方	9.00	887,446	増加	H						9.00	887,446			
				減少	H										
肉豚試験採糞場	南部町北方	9.00	887,446	増加	H						9.00	887,446			
				減少	H										
種鶏舎1	南部町北方	115.50	15,747,375	増加	H						0.00		0		
				減少	H		115.50	15,747,375	種別変更						

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
行政 財産	新種鶏舎1	南部町北方	0	0	増加 H		115.50	15,747,375	種別変更	H		115.50	15,747,375	
	種鶏舎2	南部町北方	115.50	15,747,375	増加 H					H		0.00	0	
	新種鶏舎2	南部町北方	0	0	増加 H		115.50	15,747,375	種別変更	H		115.50	15,747,375	
	送水施設 (ポンプ小屋)	南部町原	6.73	4,235,700	増加 H					H		6.73	4,235,700	
	繁殖豚舎	南部町北方	0	0	増加 H		306.85	16,450,000	種別変更	H		306.85	16,450,000	
	第1分娩豚舎	南部町北方	0	0	増加 H		226.40	13,251,000	種別変更	H		226.40	13,251,000	
	離乳豚舎	南部町北方	0	0	増加 H		207.36	15,504,000	種別変更	H		207.36	15,504,000	
	種雌豚舎	南部町北方	0	0	増加 H		273.06	18,746,000	種別変更	H		273.06	18,746,000	
	肉豚試験舎	南部町北方	0	0	増加 H		132.00	10,686,000	種別変更	H		132.00	10,686,000	
	尿汚水処理施設	南部町北方	0	0	増加 H		116.48	43,155,000	登録漏れ	H		116.48	43,155,000	
	北方本場小計		5,889.28	628,486,438			116.48	43,155,000				6,005.76	671,641,438	
	管理室	南部町絹屋	0.00	0	増加 H	H27.12.7	67.72	1,762,000	防疫資材等の倉庫として利用しているため	H		67.72	1,762,000	
	実験室	南部町絹屋	0.00	0	増加 H	H27.12.7	59.80	18,849,000	防疫資材等の倉庫として利用しているため	H		59.80	18,849,000	
	絹屋小計		0.00	0			127.52	20,611,000				127.52	20,611,000	
	計		5,889.28	628,486,438			244.00	63,766,000				6,133.28	692,252,438	

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
普通財産	分娩豚舎	南部町絹屋	184.00	3,255,000	増加	H					184.00	3,255,000	
	育成豚舎	南部町絹屋	192.00	2,884,000	減少	H					192.00	2,884,000	
	種豚舎	南部町絹屋	63.75	844,500	増加	H					63.75	844,500	
	母豚群飼豚舎	南部町絹屋	201.87	1,959,500	減少	H					201.87	1,959,500	
	飼料庫	南部町絹屋	48.60	491,500	増加	H					48.60	491,500	
	管理室	南部町絹屋	67.72	1,762,000	減少	H27.12.7	67.72	1,762,000	防疫資材等の倉庫として利用しているため		0.00	0	
	農機具格納庫	南部町絹屋	68.00	738,500	増加	H					68.00	738,500	
	口二一舎	南部町絹屋	168.00	1,176,000	減少	H27.10.30	168.00	1,176,000	施設整備による撤去		0.00	0	
	便所	南部町絹屋	4.97	198,000	増加	H					4.97	198,000	
	種雄豚舎	南部町絹屋	259.20	16,991,000	増加	H					259.20	16,991,000	
	検定豚舎	南部町絹屋	216.00	14,159,000	減少	H					216.00	14,159,000	
	育成選抜豚舎	南部町絹屋	522.00	39,280,000	増加	H					522.00	39,280,000	
	分娩豚舎	南部町絹屋	231.00	17,122,000	減少	H					231.00	17,122,000	
	種雌豚舎	南部町絹屋	238.60	13,484,898	増加	H					238.60	13,484,898	
	糞尿処理施設	南部町絹屋	270.00	15,965,000	減少	H					270.00	15,965,000	

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
普通財産	肥育豚舎	南部町絹屋	230.00	28,634,000	増加	H				H	230.00	28,634,000	
	実験室棟	南部町絹屋	59.80	18,849,000	減少	H27.12.7	59.80	18,849,000	防疫資材等の倉庫として利用しているため	H	0.00	0	
計			3,025.51	177,793,898			295.52	21,787,000			2729.99	156,006,898	
合計			3,025.51	177,793,898			539.52	85,553,000			8,863.27	848,259,336	

ウ 山林

該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

(ア) 異動状況

該当なし

(イ) 出願及び登録の状況

該当なし

(ウ) 活用の状況

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年12月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	27,256	89,300	81,948	34,608	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道プリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	27,256	89,300	81,948	34,608	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成27年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	電気通信設備設置	南部町絹屋	コンクリート柱3本	H23.2.23	H8.4.4	H23.4.1 ~H28.3.31	月額・年額 540	540	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店		
	電気通信設備設置	南部町絹屋	支線1条	H23.8.29	H23.9.1	H23.9.1 ~H28.3.31	月額・年額 180	180	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店		
	電柱支持支線設置	南部町絹屋大深田	支線1条	H25.1.18	H25.1.18	H25.1.18 ~H29.3.31	月額・年額 1,870	1,870	米子市加茂町2-51 中国電力(株)米子営業所		
計											
普通財産							月額・年額				
計											
合計										2,590	

イ 建物 該当なし

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	中小家畜試験場(西白郡南部町北方633)	12.5	1,000
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免			
4月	20	2	2			18	18	0		
5月	18					18	18	0		
6月	18					18	18	0		
7月	18					18	18	0		
8月	18					18	18	0		
9月	18					18	18	0		
10月	18					18	18	0		
11月	18					18	18	0		
12月	18					18	18	0		
1月										
2月										
3月										
合計								0		

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成27年12月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度		備考
					車検年月日	修理費等	
				km		円	
小型四輪貨物自動車	H12	鳥取400 さ25-17	H12.7.7	81,954	H27.6.30	車検 264,198 6ヶ月点検 29,884 燃料ポンプ修理 24,732 タイヤ交換 5,184	
合計		1台		81,954		323,998	

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成27年12月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	処分			備考	
							売却棄却 の別	売却方法・棄却理由	処分 年月日		売却額・ 処分費用
トットリ デー 1351	1	H24.6.29	年 3	円 63,000	H27.4.9	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.4.16	12,989	
トットリ デー 11041	1	H24.1.17	3	63,000	H27.4.9	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.4.16	29,602	
トットリ デー 2263	1	H25.6.27	3	63,000	H27.5.15	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.5.28	42,907	
LW 3279	1	H26.4.21	3	64,800	H27.5.15	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.5.28	25,106	
トットリ ダブル 2601	1	H25.4.3	3	63,000	H27.5.26	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.6.11	12,455	
トットリ デー 1389	1	H24.6.29	3	63,000	H27.6.29	子宮脱	棄却	亡失	H27.6.29	0	
トットリ エル 2147	1	H25.4.3	3	63,000	H27.6.29	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.7.16	45,328	
トットリ デー 2212	1	H25.4.3	3	63,000	H27.7.30	子宮脱	棄却	亡失	H27.7.30	0	

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	処分			備考	
							売却 の別	売却方法・棄却理由	処分 年月日		売却額・ 処分費用
トットリ デー 2258	1	H25.6.27	3	63,000	H27.7.30	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.8.13	41,245	
LW 3245	1	H26.7.3	3	64,800	H27.7.30	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.8.13	37,086	
LW 3278	1	H26.4.21	3	64,800	H27.7.30	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.8.13	35,331	
大ヨーク種育成豚 雌	1	H23.4.7	3	118,650	H27.7.30	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.8.13	26,894	
トットリ エル 1478	1	H24.6.29	3	63,000	H27.9.3	肺出血水腫	棄却	亡失	H27.9.3	0	
トットリ デー 9169	1	H22.5.21	3	63,000	H27.8.28	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.9.17	32,847	
トットリ ビー 1 3097	1	H26.11.11	3	64,800	H27.9.10	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.9.17	34,629	
LW 3246	1	H26.4.21	3	64,800	H27.8.28	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.9.17	33,576	
トットリ ビー 1 3128	1	H26.8.14	3	64,800	H27.10.2	化膿性関節炎	棄却	亡失	H27.10.2	0	
クーローメーター	1	H13.7.25	5	5,964,000	H27.10.19	修理不能のため	棄却	修理不能のため	H27.10.19	0	
自動血球計数器	1	S54.6.4	8	2,140,000	H27.10.19	修理不能のため	棄却	修理不能のため	H27.10.19	0	
トットリ ビー 1 3187	1	H26.8.14	3	64,800	H27.11.10	化膿性関節炎	棄却	亡失	H27.11.10	0	
トットリ デー 7 3135	1	H26.7.3	3	64,800	H27.12.4	繁殖能力が低下したため	売却	委託販売	H27.12.17	14,651	
超純水製造装置	1	H7.8.10	5	401,700	H27.12.17	消耗交換部品供給終了によ り修理不能	棄却	消耗交換部品供給終了 により修理不能	H27.12.17	0	
高圧温水洗浄機	1	H7.8.18	5	561,350	H27.12.17	消耗交換部品供給終了によ り修理不能	棄却	消耗交換部品供給終了 により修理不能	H27.12.17	0	
合計	23			10,334,100						424,646	

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
平成27年11月25日			
~			
平成27年12月1日	・ 有		
	無		

2.2 事業別予算執行状況調べ

目 名	畜産総務費	(平成27年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
畜産農家環境保全指導事業	(目的) 県内畜産農家の水質及び臭気発生状況の調査 (実績) 調査件数： 水質20件 臭気14件 汚水簡易測定器具を各普及所へ配布(パックテストCOD、メスシリンダー)	

目 名	中小家畜試験場費	(平成27年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
中小家畜試験場管理運営費	施設の維持管理、非常勤職員等の管理運営を行った。	
中小家畜試験場施設整備費	中小家畜試験場の施設整備を行った。	
「鳥取地どりピヨ」の改良試験	6 主な事業に関する調べに記載 25 試験研究調査事業別実施状況調べに記載	
鳥取地どりピヨの遺伝資源保存技術の開発試験	25 試験研究調査事業別実施状況調べに記載	
低コスト畜舎臭気低減技術の開発	6 主な事業に関する調べに記載 25 試験研究調査事業別実施状況調べに記載	
環境と調和の取れた畜産排水処理技術の改善と指導マニュアルの作成	25 試験研究調査事業別実施状況調べに記載	
鳥取県産ブランド豚品質向上試験	6 主な事業に関する調べに記載 25 試験研究調査事業別実施状況調べに記載	
鳥取県産豚の美味しさ解析試験	25 試験研究調査事業別実施状況調べに記載	

23 農業機械の管理状況

(平成27年12月31日現在)

品名	型式及び規格	取得年月日	用途	稼働日数 日	燃料		修繕費等 円	左の主な内容 円	備考
					消費量 ℓ	金額 円			
トラクター	クボタ L1-R18	S57. 6.17	除雪、堆肥 (鶏)等運搬	5	軽油 18	2,412	0	0	
	クボタ KL43BMAP	H15. 9.12	除草、除雪、 堆肥(豚)等 運搬	5	軽油 36	4,662	13,024	点検・整備 13,024	
小型ローダ	小松フォー クリフト (株)SK05	H5. 10.29	堆肥の運搬	17	軽油 36	4,824	0	0	
ホイールロー ダー	クボタ R430Z	H21. 7.17	堆肥の運搬	135	軽油 162	20,736	44,831	特定自主検査 整備一式 44,831	
ダンパー (運搬車)	カワシマ RQ4WDDV	H7. 8.31	豚糞の運搬	111	ガソリン 79	10,636	5,724	点検・整備 5,724	
動力運搬車	カワシマ RQ4WD-DV	H7. 8.31	鶏糞の運搬	63	ガソリン 43	5,830	0	0	
	カワシマRA 4WD - D(S T)	H16. 12.20	豚糞の運搬 機材等の運 搬	122	ガソリン 84	11,322	45,252	点検・整備 45,252	
	(有)河島農 具製作所 RX4WD	H24. 9.13	豚糞の運搬 機材等の運 搬	49	ガソリン 44	5,860	5,724	点検・整備 5,724	
	(有)河島農 具製作所 RX4WD	H26. 9.24	機材等の運 搬	61	ガソリン 43	5,741	0	0	
自走式草刈機	オーレック クローラハ ンマーナイ フローター HRC802B	H23. 6.29	除草	16	ガソリン 49	6,816	0	0	
バッテリー式 運搬車	藤樹運搬機 工(株) EY8-37G	H22 7.30	飼料の運搬	118	0	0	0	0	
計					ガソリン 342 軽油 252	ガソリン 46,205 軽油 32,634	114,555	114,555	

2.4 生産物（品）に関する調べ

(平成27年12月31日現在)

生産部	生産品名種類	作付面積	生産計画数量	生産数量		場内使用	処分数量				計	備考		
				生産	購入		売却数量	却金額	目的外使用				廃棄	
									数量	金額				数量
養鶏	成鶏			羽 591	羽 購入125	羽 0	円 0	羽 0	円 0	羽 662	羽 662	円 0	羽 712	分類換は育 成鶏から
				羽 409	羽 15,964 生産15,756 購入 208	羽 187	円 810,043	羽 0	円 0	羽 8,667 へい死34 淘汰8,633	羽 15,715	円 810,043	羽 658	羽 0
	種卵		個 4,196	個 25,511	個 15,756	個 0	円 0	個 0	円 0	個 9,567	個 9,567	円 0	個 4,384	
小計						円 810,043					円 810,043			
養豚	精液		本 4,000	本 2,822	本 195	本 751	円 783,000	本 0	円 0	本 1,962	本 2,908	円 783,000	本 25	
	生産品		頭 1,280	頭 912	頭 1,143	頭 879	円 12,066,659	頭 0	円 0	へい死等 57	頭 936	円 12,066,659	頭 201	分類換は 動物へ
小計						円 12,849,659					円 12,849,659			
合計						円 13,659,702					円 13,659,702			

25 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成27年12月31日現在)

事業名	「鳥取地どりピヨ」の改良試験		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	15年度 ～27年度		(予算額) 支出済額	(9,530,000円) 6,187,735円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
(単) I 鳥取県独自の地どり種鶏群(雄系)の改良を図る。	中小家畜試験場	11世代エリート鶏 552羽	魅力的で独自性があり、高位に安定した品質を持つ血統を作出する。	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
		11世代鶏 680羽		(課題) 6 主な事業に関する調べに記載
II ピヨの旨み(アラキドン酸)を向上する。	中小家畜試験場	交雑種 97羽	商品の差別化を図るため地どり肉の旨み向上を行う。 1) 育種試験: 第11世代のエリート鶏を飼育し、モモ肉の脂肪酸組成におけるアラキドン酸含有率を分析し、選抜形質に加え育種価を向上させる。 2) 油脂添加試験 γリノレン酸を飼料中に添加し、鶏肉(モモ肉)のアラキドン酸含有率を向上させる。	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
		ピヨ 100羽		(課題) 6 主な事業に関する調べに記載

事業名	鳥取地どりピヨの遺伝資源保存技術の開発	担当室別	環境・養鶏研究室
施計画期間	25年度～28年度	(予算額) 支出済額	(668,000円) 508,135円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標
(単) 伝染病発生等の危機管理対策として、(1)地どり精液凍結保存技術の開発 (2)種卵の超長期保存技術の開発を行い、場外での地どり遺伝資源保存技術の確立を目指す。	中小家畜試験場	交雑種鶏 (GSR) 100羽	<p>1. 凍結前処理と耐凍剤の種類が受精に与える影響を調査する。</p> <p>2. 超長期間の貯卵が孵化率に与える影響を調査する。</p> <p>1 凍結精液保存技術の開発 (成果)</p> <p>1) 凍結前処理が受精に与える影響 一次希釈後の精液を透明液除去の目的で遠心したものと比較を行った。 遠心区・・・受精率59%、孵化率34.5% 非遠心区・・・受精率64.943%、孵化率38.1%</p> <p>2) 耐凍剤の種類が受精に与える影響 これまで使用している耐凍剤と類縁物質である2種類の耐凍剤の受精に与える影響を比較検討した。 メチルアセトアミド・・・ 受精率65.6%、孵化率52.4% ジメチルホルムアミド・・・ 受精率55.7%、孵化率44.9% ジメチルアセトアミド・・・ 受精率38.1%、孵化率26.5%</p> <p>(課題) 他条件も勘案しながら、さらなる孵化率の向上を目指す。</p> <p>2 超長期貯卵技術の開発 (成果)</p> <p>6～8週間の貯卵中に2～3日おきに1回転卵を実施することが孵化率に与える影響を調査した。</p> <p>6. 6週貯卵を行ったもの 入卵個数 77 孵卵数 23 孵化率 29.9%</p> <p>7. 1週貯卵を行ったもの 入卵個数 86 孵卵数 5 孵化率 5.8%</p> <p>8. 3週貯卵を行ったもの 入卵個数 90 孵卵数 0 孵化率 0%</p> <p>(課題) 新たな知見等が入手できた場合に試験を続行することとする。</p>

事業名	低コスト畜舎臭気低減技術の開発		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	25年度 ～27年度		(予算額)	(700,000円)
			支出済額	168,645円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
(単)畜舎臭気について、畜舎周囲の簡易な施設による臭気低減技術を開発する。	県内養鶏場	採卵鶏 29万羽	ネット・水噴霧・換気扇等を用いた脱臭効果の検討とその運転・管理方法の開発	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載 (課題) 6 主な事業に関する調べに記載

事業名	環境と調和の取れた畜産排水処理技術の改善と指導マニュアルの作成		担当室別	環境・養鶏研究室
実施計画期間	26年度 ～29年度		(予算額)	(7,446,480円)
			支出済額	5,388,084円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
(単)畜産経営から排出される汚水が排水基準を満たすような処理の適正化のための技術検討。指導者向けに、現場測定マニュアルを作成。	中小家畜試験場 現地調査		①窒素除去率向上試験での農場実証試験を実施 ②散気管では比較試験と炭素繊維との組み合わせ試験を実施。 ③現場測定マニュアル作成では、窒素濃のデータ収集と改善事例集の作成。	(成果) 実証試験では、汚水処理施設改修で安定浄化となり、電気代削減や労力低減効果も上がった。散気管はメンブレン式が硝化に効果的であり、新技術である炭素繊維との組み合わせにより窒素除去の効果が向上。現場測定では窒素簡易測定方法として電気伝導率が適当と考えられる。 (課題) 水温低下条件下での、窒素除去率と送付空気量の調査。炭素繊維の効果的な設置場所と量の検討を行う。

事業名	鳥取県産豚ブランド豚品質向上試験		担当室別	養豚研究室
実施計画期間	26年度 ～28年度		(予算額) 支出済額	(11,237,000円) 5,212,821円
試験研究 調査の目的	試験研究調 査を行う場 所	試験研究 調査の 対象・数 量・範囲	本年度の試験研究 調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
(単) 1. ブランド豚の 特徴を具体的に説 明し、差別化を図 る。 2. ブランド価値 の向上を図る。 3. 大山ルビーの 肉質及び枝肉形質 の安定化を図る。	中小家畜試 験場	肥育試験 豚 40頭 パークシ ャー種 雄 10頭	1. 鳥取県産ブランド豚「大 山ルビー」への鳥取県産高 オレイン酸含有ひまわり油 粕およびひまわり種子添加 試験を行い、ブランド価値 向上を目指す。 2. パークシャー種雄の直 接検定試験を実施し、パー クシャー種雄の譲渡体制を 整える。	(成果) 6 主な事業に関する調べに記載
				(課題) 6 主な事業に関する調べに記載

事業名	鳥取県産豚の美味しさ解析試験		担当室別	養豚研究室																																																		
実施計画期間	27年度 ～28年度		(予算額)	(19,092,520円)																																																		
			支出済額	11,353,585円																																																		
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題																																																		
<p>(単)</p> <p>1. 鳥取県産豚と「大山赤ぶた」の肥育試験を行い、肉質分析等を調査して美味しさを明確にする。</p> <p>2. 農家実証試験で、鳥取県産豚の美味しさを確認する。</p> <p>3. 県内養豚農家が希望する品種の精液、繁殖候補豚を供給する。</p>	<p>中小家畜試験場</p>	<p>LWD種の肉豚44頭</p>	<p>・系統豚「大山赤ぶた」由来のLWD種（以下鳥取県産豚）と県外デュロック種由来のLWD種との繁殖性、産肉性および肉の美味しさと機能性を解析し、鳥取県産豚の優位性を調査する。</p>	<p>(成果)</p> <p>・系統豚「大山赤ぶた」由来のLWDを9腹、36頭と県外由来のLWDを2腹、8頭の肥育試験および41頭の枝肉調査（と体長、脂肪厚等）、肉質分析（水分、保水力等）を調査した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">繁殖性</th> <th colspan="2">産肉性</th> </tr> <tr> <th>分娩頭数 (頭)</th> <th>産子検定 指数※</th> <th>出荷日齢 (日)</th> <th>一日増体量 (kg/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県内豚A</td> <td>10</td> <td>118.0</td> <td>147.3</td> <td>0.785</td> </tr> <tr> <td>県内豚B</td> <td>11</td> <td>106.0</td> <td>152.3</td> <td>0.765</td> </tr> <tr> <td>県内豚C</td> <td>10</td> <td>108.0</td> <td>159.8</td> <td>0.754</td> </tr> <tr> <td>県外豚A</td> <td>8</td> <td>79.0</td> <td>160.7</td> <td>0.731</td> </tr> <tr> <td>県外豚B</td> <td>11</td> <td>87.8</td> <td>157.8</td> <td>0.733</td> </tr> </tbody> </table> <p>※産子検定指数: (一社)日本養豚協会種豚産子検定基準試算式(L,W)</p> <p>繁殖性、産肉性は県外豚に比べ鳥取県産豚が優位であった。 肉の美味しさは現在調査中。</p> <p>・合計10腹、40頭の肥育試験および36頭の枝肉調査、肉質分析を行った。4腹分、15頭は現在育成、肥育中。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>水分 (%)</th> <th>加熱損失 (%)</th> <th>保水力 (48時間後)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均※</td> <td>71.9</td> <td>30.0</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>標準偏差</td> <td>1.4</td> <td>1.2</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>変動係数</td> <td>2%</td> <td>4%</td> <td>27%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数値は腹平均値から算出。</p> <p>・現在、県内養豚農家へ精液は751本、繁殖候補豚は9頭供給している。</p> <p>(課題)</p> <p>・種雄豚（デュロック種）について、肉の美味しさだけでなく、繁殖性、産肉性等の経済性を加味した総合的な評価法を検討、実施する。</p> <p>・種雄豚の影響を解析する統計的手法を検討、実施する。</p> <p>・県内養豚農家の種豚等のニーズを事前把握し、計画的に供給できる体制作りに取り組む。</p>		繁殖性		産肉性		分娩頭数 (頭)	産子検定 指数※	出荷日齢 (日)	一日増体量 (kg/日)	県内豚A	10	118.0	147.3	0.785	県内豚B	11	106.0	152.3	0.765	県内豚C	10	108.0	159.8	0.754	県外豚A	8	79.0	160.7	0.731	県外豚B	11	87.8	157.8	0.733	項目	水分 (%)	加熱損失 (%)	保水力 (48時間後)	平均※	71.9	30.0	3.7	標準偏差	1.4	1.2	1.0	変動係数	2%	4%	27%
			繁殖性			産肉性																																																
			分娩頭数 (頭)		産子検定 指数※	出荷日齢 (日)	一日増体量 (kg/日)																																															
県内豚A	10	118.0	147.3	0.785																																																		
県内豚B	11	106.0	152.3	0.765																																																		
県内豚C	10	108.0	159.8	0.754																																																		
県外豚A	8	79.0	160.7	0.731																																																		
県外豚B	11	87.8	157.8	0.733																																																		
項目	水分 (%)	加熱損失 (%)	保水力 (48時間後)																																																			
平均※	71.9	30.0	3.7																																																			
標準偏差	1.4	1.2	1.0																																																			
変動係数	2%	4%	27%																																																			
		<p>D種の肉豚55頭 B種の肉豚4頭</p>	<p>・「大山赤ぶた」の肥育試験を実施し、肉質分析等を行い、種雄豚で調査項目に差があるか解析する。また、その他品種と美味しさ特性を調査する。</p>																																																			
			<p>・県内養豚農家の要望する品種の精液を年間800本及び繁殖候補豚を15頭供給する。</p>																																																			

○ 意見、要望等

- (1) 業務に関する意見・要望等 特になし
- (2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし

